

# 思い出の1つ

九回生 河地一宏

最近スポーツのゲームでは雰囲気盛り上げる為、選手の志気を鼓舞する為、はたまた応援団が応援を楽しむ為にと、その応援が随分派手になって来ている様に見受けられます。派手な応援はいけないう訳ではありません。いや寧ろ、応援はなければならぬものになっていくのかもしれない。整然とした応援もよし、雑然とした騒々しい応援も又よしであります。私の経験から言っても応援団のない選手だけでの静かなゲームも、それはそれなりにゲームに没頭出来て良いものです。

しかし応援団付きも又何か何かのものとして……。

当時（昭和31〜32年）アメリカカンハイスクールとの親善試合がありました。相手の毛色の変わった応援団が現われたり、我校の部員以外の生徒が応援に駆け付けてくれたりしますと、矢張り緊張の度合いも高まります。特に女子生徒などが来てくれると、その張切りは凄まじく、ゲームにも熱が入り、思わぬ好プレーが出たり、逆にとんでもない珍プレーが出たりでゲームを盛り上げてくれたものでした。ところで、応援と言えば、種々の仕方がありますが、テレビで時々出てまいりますチャイガールによる応援、カラフルに軽快にそしておりますと、五十路に入った今も尚ゲームの楽しさと共に、魅力的な彼女達の応援を悦に入つて眺めてしまします。これを目にしますと思ひ出すのがあの時のアメリカンハイスクールのチャイガール応援団であります。（アメリカンハイスクールは、現在の白川公園にあつたように記憶しています。）我軍はここへ乗り込んで行つたのですが、我々の年代はまだアメリカを敵国という感情で見えておりましたから親善試合と言つても、「コンチクショウ敗けてたまるか敵国め。」となり我軍平均身長一六七センチそこそこをもとせざ、コートに出ても武者震い。ところが、コートに出た時ド肝を抜かれ「ドキ」とさせられたのがチャイガールです。

## 第5回新年会のお知らせ

今年度は諸般の事情により、新年会を1月4日(水)に行います。正月明けの多忙な時ではありますが、多数のOB諸氏の参加をお待ちしております。

愛知一中・旭丘バスケットボール部OB会  
会長 岩城 新((7回))  
連絡先 服部 保孝(25回)  
TEL <0586> 45-0858

### 記

1月4日(水) 於・旭丘高校 鯨光館  
12:00 OB対OB戦  
13:00 OG対現役戦  
14:00 OB対現役戦(ハーフタイムを利用して超OB戦(35才以上)を行います。)  
15:30 総会・パーティ

- 当日受付にて、OB会年会費(1口1,000円)とパーティ代(1,500円)を集めます。OB会年会費については、就職された方はなるべく2口以上お願いいたします。また都合のため当日出席できない方も同封の振込用紙でOB会費はぜひ納入して下さい。
- 出欠ハガキを12月20日迄に御投函下さい。

## 役員会報告

### (1) 昭和64年度の総会について

長い足に短い白いスカート。スカートの下が真赤なパンツ。試合の前我軍のベンチの前にまいました。ライندگانスよろしく右の足左の足を交互に高く跳ね上げて、赤白赤白、我々の目を眩ます。我軍のメンバー全員目を逸らし、時々目の玉のみを彼女達に向ける。極端にこれをやりますと眼球が「ツル」ことを初めて知りました。身長差と眼球の「ツル」ことにより試合のほうは敗れたような記憶しか残っておりませんが、このチャイガールの強烈なショックは、今尚鮮明に瞼の底に焼きついて残っております。

昨年から予告してききましたが、右に案内したように総会の日程を止むおえず変更することとなりました。田中先輩や岩城会長の熱心な学校との交渉も思うようには運ばず、これ以上学校との関係を損ねることは現役を支援するOB会として避けるべきだということで譲歩した次第です。2日を楽しみにしていたOB、4日では来られないというOB、申し訳ありません。ひとまず64年度は4日に開催とします。(4頁へ)

# 会報

第8号 昭和63年12月4日発行

# 愛知一中・旭丘バスケット部OB会 会計報告

## 1 63年度決算報告(昭和62年10月1日～63年9月30日)

| 収入の部       |          | 支出の部           |          |
|------------|----------|----------------|----------|
| 年会費(189名分) | 427,500円 | 通信費            | 108,020円 |
| 利息         | 8,341    | 印刷費(会報など)      | 131,500  |
| 前年度繰越金     | 329,489  | 事務費            | 20,970   |
|            |          | 会議費            | 52,070   |
|            |          | 事業費(新年会補助)     | 17,756   |
|            |          | 現役補助(女子ユニフォーム) | 50,000   |
|            |          | 名簿作成準備金        | 150,000  |
|            |          | 繰越金            | 235,014  |
| 合計         | 765,330円 | 合計             | 765,330円 |

|             |          |         |    |          |
|-------------|----------|---------|----|----------|
| 昭和63年新年会 収入 | 会費(66名分) | 99,000円 | 支出 | 116,756円 |
|             | OB会より    | 17,756  |    |          |

## 2 64年度予算案

| 収入の部        |          | 支出の部                   |          |
|-------------|----------|------------------------|----------|
| 前年度繰越金      | 235,014円 | 通信費                    | 150,000円 |
| 年会費         | 500,000  | 印刷費                    | 140,000  |
| 利息          | 8,000    | 事務費                    | 30,000   |
| 合計          | 743,014円 | 会議費                    | 70,000   |
|             |          | 事業費(四校リーグ<br>40周年事業など) | 100,000  |
| 3. 定期預金の部   |          | 現役補助                   | 100,000  |
| 62年度名簿作成準備金 | 250,000円 | 名簿作成準備金                | 150,000  |
| 63 " "      | 150,000  | 繰越金                    | 3,014    |
| 64 " "      | 150,000  | 合計                     | 743,014円 |
| 合計          | 550,000円 |                        |          |

# バスケットボール部の四校リーグ

25期 服部保孝

私が旭丘へ入学したのは学園紛争の真っ只中の時だった。迷うことなくバスケット部へ入ったのだが、全盛期のラグビー部に名選手を奪われ、最悪の時代だった。部室のロッカーの上の、埃にまみれた楯を、夏の四校リーグで向陽に持っていかれてしまった苦しい出が今も残っている。しかしその楯のもつ輝かしい歴史を知ったのは、一中旭丘バスケット部OB会の仕事に携わってからだ。

一中籠球部が柴垣芳太郎先輩(60回)らによって創設されて五十年余、一中では新しい運動部である。男女合わせて九百人余のOBにとって、歴史の古さは誇れないが、どこにも負けない素晴らしい伝統を持っている。それが今年で三十九回目となる明和、向陽、菊里、そして旭丘の対校戦「四校リーグ」である。

創部間もない昭和十六年、一中籠球部は豪傑田中三郎氏(65回)を中心に愛知を制覇した。戦後もいち早く復活し、全国大会出場など黄金時代を築いた。しかし、全国制覇を目標に厳しい練習を積んだ矢先に学制改革だった。昭和二十四年、籠球部の主力は、互いに錬磨し合い、立派なチームを創るこ

とを誓い合って旭丘、明和、向陽、菊里へと分かれていった。この時、部を指導していた田中、岩塚、水谷、伊藤氏らのもと四校リーグが発足したのである。第一回は旭丘が優勝した。そしてこの年は菊里が国体へ出場した。女子部も伊藤氏(旭丘1回)の指導の下、県の強豪となり、小林選手(旭丘3回)などは、全日本の主力となったほどであった。

私の見たあの楯はこの時、田中三郎氏が寄贈したものであった。

以来三十八回、顧問の先生の並々ならぬ努力のもとで、一度も欠かすことなく夏休みの中心行事としてリーグ戦は続いてきた。最近各校のOB会も整備され、男女の現役戦のみでなく、OB戦やOG戦、そして超OB戦にも熱がこもっている。

百十周年を記念して鯨光会からこの対校戦に激励費をいただいた。これを機会に我々の伝統ある四校リーグを鯨光会の諸先輩にお伝えしたく、筆を取った次第である。

(創立百十周年記念誌 P245 より)

## 第39回四校リーグ戦(8/6・7 向陽にて)

### 1. 総合成績

|     |    |     |    |
|-----|----|-----|----|
| 優勝  | 菊里 | 第2位 | 向陽 |
| 第3位 | 旭丘 | 第4位 | 明和 |

### 2. 試合結果

|        |    |         |    |
|--------|----|---------|----|
| 男子     | 旭丘 | 47 - 39 | 向陽 |
| (1勝2敗) | 〃  | 45 - 46 | 明和 |
|        | 〃  | 33 - 53 | 菊里 |
| 女子     | 旭丘 | 61 - 48 | 明和 |
| (1勝2敗) | 〃  | 33 - 54 | 菊里 |
|        | 〃  | 25 - 78 | 向陽 |

### 3. OB戦

|     |    |         |    |
|-----|----|---------|----|
| 1回戦 | 旭丘 | 49 - 40 | 明和 |
|-----|----|---------|----|

決勝 旭丘 49 - 56 向陽

OB戦はガード若山(8)、フォワード柳澤(30)、永田(34)、センター林(38)らを中心に大健闘。筑波大勢2人を中心とした向陽と後半の最後まで手に汗握る大接戦を演じた。今回はOBの集まりが悪く(約10名)優勝を逃したが来年は母校の鯨光館での開催である。多くのOBの力を結集して、現役ともども是非優勝の座を奮還しよう。

### 4. OG戦

メンバー不足で棄権

### 5. 超OB戦

|       |         |    |
|-------|---------|----|
| 旭丘・向陽 | 29 - 28 | 明和 |
|-------|---------|----|

菊里連合軍

## 役員会報告の続き(1頁より)

### (2) 四校リーグについて

昭和64年で四校リーグも40周年となります。そしてちょうど今年の会場校が旭丘です。四校リーグ40周年を記念して、明和・菊里・向陽のOB会と協力し合って次のようなことを企画していくこととなりました。

#### ① 各校OB会相互の連絡体制の整備

#### ② 四校合同記念パーティ

①②ともこれから四校のOB会で話し合っ形を整えていきます。詳細については夏の会報で連絡できると思います。このことなどについて、よいアイデアがありましたら是非御連絡下さい。

### (3) 名簿改訂について

前回の名簿(1985年版)も随分変更がでてきて、そろそろ改訂にかかりたいと思います。改訂版を作成するにあたって、同封した葉書に住所等を記入の上、必ず返信をお

願いたします。なんとか1989年中に改訂作業を完了させたいと思います。

☆ ☆

この4年間のOB諸兄の協力で現役に少々なりとも援助しつつ、その上少しばかりの資金の貯えはできました。しかし四校リーグ40周年の準備、そして名簿の改訂にむけてより一層の会費収入が必要となりました。特に名簿については全OBに郵送等で送るために、かなりの費用がかかります。そこで64年度の会費収入の目標を従来の40万円(2,000円×200人)から**50万円**としました。目標達成のために、**1人でも多くのOBに、また今より少しでも多めの会費を納入していただけたら**と期待しております。

OB会の円滑な運営のためにより一層の御協力をお願いいたします。(以上11月8日の役員会より)

編集責任者

|          |          |
|----------|----------|
| 服部保孝(25) | 丹下雅博(27) |
| 近藤耕司(29) | 服部敦(29)  |